



東京工芸大学
学生支援センター<HOME>発行
2018年4月
第27号

TODAY'S TOPIC

授業課題を始める前に

—自己調整学習の観点から—

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。学生支援センター<HOME>は全ての工芸大生が充実した大学生活を送り、一人の人間として成長することを応援しています。大学生活の中でメインとなるのはやはり学業です。キャンパスに滞在する時間のほとんどは授業や自主学習などをして過ごすと思います。自主学習では授業課題に取り組む時間が多いでしょう。2018年度のHome Letterでは授業課題への取り組み方の工夫について、心理学における「自己調整学習」の観点も踏まえて紹介します。今回は「授業課題を始める前」に焦点をあてます。

授業課題の種類例

大学のほとんどの科目では「授業課題」の提出が求められます。科目によって内容や提出時期等は異なりますが、多くは数分で終わるようなものではありません。そのため、授業以外の時間も課題に取り組む必要があります。以下、授業課題の種類を例示します。

レポート系

- ・特定の用語や事柄について、書籍等を読んで調べて文にまとめる。
- ・授業中に行った実験や活動についての報告書を書く。など

作品系

- ・テーマに沿った作品を作る。
- ・プレゼンテーションの資料を作る。など

問題を解く系

- ・計算問題のプリントを行う。
- ・英文を和訳する。日本語文を英文にする。など



自己調整学習とは

自己調整学習とは、簡単に言えば「目標に向かってやり方等を工夫しながら能動的に学習を進めていくこと」です。また、自己調整学習に関する研究では、学習前・学習中・学習後の各段階における工夫について探求しています。今回焦点を当てている学習前では、何となく学習に取り掛かるのではなく、自ら目標や計画等を立ててから学習を始めることを大切にします。

授業課題を始める前に行うこと

1. 条件を確認し、自分なりの目標を立てる

授業課題には、テーマや分量(字数や作品数)、提出方法、締め切り日等の条件が必ずあります。先生の教示やシラバス等、明示されているものは計画を立てる上で重要な要素となるので注意を向けておきましょう。また、条件を満たすことは必要ですが、それ以外にも課題に取り組む上で自分なりの目標を掲げることも大切です。目標の例として、「良い評価を得る」や「自分が納得するものを作る」だけでなく、「単位取得の可能性を上げる」ことも良いでしょう。要は、課題に取り組むことが自分にとって意義があると思えるために目標を設定します。意義を感じると、やる気も持されやすいですね。

2. 課題が出た日から始める

授業時の記憶が最も保たれている瞬間は、授業直後です。また、先生から課題について説明を受けた時が一番「頑張んなきゃ」という意識が高くなりませんか。しかし、時間が経てば経つほど、記憶とやる気は薄らいでしまうものです。そのため、「鉄は熱いうちに打て」という言葉のように、可能な範囲で課題が出た日から始めてみましょう。まずは容易なところだけ取り組んだり、「3. 必要なことを分解」したりすると良いとされています。

3. 必要なことを分解する

授業課題によっては、1日では到底終わらない、大きなものもあるかもしれません。まずはどのような作業や理解が必要であるか分解し、自分のやるべきことを具体的にすると良いでしょう。時間がかかる課題であっても、具体化していく中でやるべきことが整理され、効率的に取り組めることがあります。例えば、自分なりに調べてレポートを作成する課題だったら、図書館で本を探す等の「情報収集」「集めた情報を整理する」「書く内容や書けそうなことを考える」「文章を推敲する」等が必要です。また、自分一人では分解が難しいときは、友人などと一緒に考えてやるべきことをリストアップしてみると良いでしょう。



4. 大まかな計画を立てる

課題について全く計画を立てずに「何とかなるだろう」と思っていたら、あっという間に時間が経ち、締め切りギリギリになって焦ってしまう事態になることってありますよね。そのため、「3. 必要なことを分解」したら、課題を仕上げるまでの大まかな計画を立ててみましょう。例えば、月単位や週単位でどのような作業を行うか、大まかな見通しを持つことで適度な緊張感が生じ、継続的に取り組みます。

参考文献:L・B・ニルソン(美馬のゆり・伊藤崇達監訳) 2017 学生を自己調整学習者に育てる. 北大路書房.

学生支援センター<HOME>

月～金 10:00-11:30/12:30-17:00

厚木キャンパス 13号館1階

046-242-9939(直通)

<http://www.hm.t-kougei.ac.jp/>

サポートルーム

男性・女性カウンセラーに学修、人間関係、進路、性格など、どのようなことでも相談可。

コートヤード

食事、休憩、雑談、読書、自習など、相談がなくても利用できるフリースペース。